

3. 活動内容

(1) 平成27年度 実践報告

豊橋市立東田小学校

本校区には、朝倉川が流れ、川に住む生き物が豊富である。また、三八（さんばち）の市が開かれ、人と人との関わりの中で、新鮮な野菜が売り買いされている。その他にも古墳や城跡、寺院などがあり、子どもたちの生活に密着した学習材にあふれている。このような学習材を日々の学習の中に適切に位置づけることで、地域の“人・もの・こと”と深く関わり合い、ふるさとと東田を愛する豊かな心を育てていきたいと考えている。

このようなよりよい地域社会を築き、持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育（ESD）を積極的に推進するために、これまでの教育活動を見直し、生活科・総合的な学習、学校行事を中心に、教育活動を展開している。

○ 自然・環境を考える活動 ー朝倉川探検ー

4月当初、朝倉川の清掃活動をきっかけに、朝倉川を守っていかこうとする活動を展開した。前期では、朝倉川育水フォーラムの方に来ていただき、パックテストによる水質調査の仕方を教えていただいた。その後で、川の生き物の取り方を教えていただき、一緒につかまえた。子どもたちは、たくさんの生き物をつかまえることができ、川についてより関心をもつことができた。



後期には、朝倉川の源流探検を実施し、自然にあふれた朝倉川をよりよい環境にしていくための取り組みを考えたり、これまで自分たちの調べたことを学習発表会での発表や新聞にしたりして、他の学年の児童にも朝倉川を守っていくことの大切さを啓発することができた。



○ 地域の歴史に触れる活動 ー東田じまんー

歴史に関わりの深い全久院、太蓮寺、東田古墳、仁連木城址などの見学、調べ学習を通して、それらの史跡が地域の発展に深く関わっていることを学び、地域への愛着をより深めることができた。調べたことを学習発表会で、全校に広めることで、東田校区の良さをアピールできた。

○ 伝統ある市と商店街の人々に触れる活動

大正時代から続く三八の市と古くからある東雲商店街を見学し、そこで働く人々との触れ合いを通して、伝統を守り、地域の方に喜ばれるために努力する人々の生き方を感じ取ることができた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）